

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

| 科目番号 | 科目名 | 担当者名 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---|--|---|---|-----|--------|---------|
| 32103 | Access 基礎演習 Basic Skills for Access | 伊藤 亮佑 | 専門 | 1 | 選択 | 1・2年 前期 |
| 科目の概要 | | | | | | |
| データベースソフトでも最もよく使用されている「アクセス」について習得します。データベースとは、特定のテーマで集められたデータを管理し、目的に応じて検索や抽出する仕組みです。私達の日常生活に密接しており、例えば携帯電話の電話帳昨日やインターネットの検索エンジン機能など様々なところでデータベースを利用しています。授業内容は Access2016 の基本機能・操作を初心者向けにわかりやすく、具体的に説明していきます。また実習時間を多く確保しますので、より理解を深めることができます。 | | | | | | |
| 学修内容 | | | 到達目標 | | | |
| ① アナログとデジタルのデータベースについて理解する。 ② Access2016 の基本機能「テーブル」について理解する。 ③ Access2016 の基本機能「リレーションシップ」について理解する。 ④ Access2016 の基本機能「クエリ」について理解する。 ⑤ Access2016 の基本機能「フォーム」「レポート」について理解する。 | | | ① データベースについて説明ができる。 ② 「テーブル」について理解し、作成できる。 ③ 「リレーションシップ」について理解し、作成できる。 ④ 「クエリ」について理解し、作成できる。 ⑤ 「フォーム」「レポート」について理解し、作成できる。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 授業以外の時間を使い、データベース作成手順がスムーズに行なえるよう努力を惜しまず取り組む。 | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | |
| 考え抜く力 | 実行力 | 授業以外の時間を使い、授業で学んだ Access の基本操作(テーブル、リレーションシップ、クエリ、フォーム、レポートの作成)を繰り返し粘り強く練習する。 | | | | |
| | 課題発見力 | Access の基本操作をマスターするため、学修目標を達成するための問題点を考えながら取り組む。 | | | | |
| | 計画力 | | | | | |
| チームで働く力 | 創造力 | Access の基本操作の中で、自分が不得意とする操作について、どのようにすれば習得できるか自分に適した方法を考え実践してみる。 | | | | |
| | 発信力 | 理解度を確認するため、「練習問題」を行うので、操作説明をよく聞き、理解できないところは積極的に質問し解決する。理解できるまで取り組む姿勢を持つ。 | | | | |
| | 傾聴力 | 教員の説明を聞かずに、自分の解釈で勝手に先に進まないよう、しっかり説明を聞き、メモを取りながら受講する。 | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | |
| | 状況把握力 | データベースは複数のデータを様々な形式でみることになる。1つひとつの要素がどのような関係なのかを意識して取り組む。 | | | | |
| チームで働く力 | 規律性 | 演習授業であり、毎週、新しいことを学ぶため、無断欠席、遅刻をしない。授業中は私語を慎み不明な点は積極的に質問をし、授業時間内で解決できるようにする。 | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | |
| テキスト:「よくわかる Microsoft Access 2016 基礎」(FOM 出版) | | | | | | |
| 参考文献:なし | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | |
| 他の科目との関連:「Access 応用演習」 | | | | | | |
| 資格との関連: 情報処理士、ウェブデザイン実務士 | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | 受講生とのルール | | | |
| アクセスについて知識がなく、全く触ったことがない学生も受講できる。基礎からゆっくり、わかりやすく進めるため、コンピュータが苦手な学生も履修できるが、コンピュータの基本操作は出来たほうが好ましい。 | | | 演習授業であるので欠席せず、スキルを積み上げていくことが必要。解らないことは、その都度担当教員へ質問する。 | | | |

【評価方法】

| 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント |
|------------------|-------|-----------------------|--|
| 筆記試験 | | | |
| 小テスト | 20 | ① ② ③ ④ ⑤ | <ul style="list-style-type: none"> 授業内で、Access2016の基礎機能・基礎操作が理解できているか確認する為の実技小テストを行なう。 基本的に、総合演習問題の中から出題する。 |
| レポート | | | |
| 成果発表 (口頭・実技) | 60 | ① ② ③ ④ ⑤ | <ul style="list-style-type: none"> Access2016の基本機能である「テーブル」「リレーションシップ」「クエリ」「フォーム」「レポート」について、それぞれの内容に該当する練習問題に取り組んでもらう。それらのデータがしっかりと理解され、作られているかを評価する。 練習問題がひとつでも未提出の場合は不合格とする。 |
| 作品 | | | |
| 社会人基礎力 (学修態度) | 20 | ① ② ③ ④ ⑤ | <ul style="list-style-type: none"> データベースについて学ぶ姿勢や、Access2016を習得する為に必要となる、データの正確な扱いができるかを評価する。 出欠席は、減点方式で行う。 (主体性) 授業以外の時間を使い、データベース作成等が行えるよう努力を惜しまず取り組むことができる。 (実行力) 授業以外の時間を使い、授業で学んだAccessの基本操作を繰り返し練習することができる。 (課題発見力) 学修目標を達成するための問題点を考えながら取り組むことができる。 (創造力) 自分が不得意とする操作について、どのようにすれば修得できるか自分に適した方法を考え、実践することができる。 (発信力) 理解できないところは、積極的に質問し解決することができる。 (傾聴力) しっかり説明を聞き、メモを取りながら受講することができる。 (規律性) 無断欠席、遅刻をせず、授業中は私語を慎み、授業時間内で解決できる。 |
| その他 | | | |
| 総合評価割合 | 100 | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベル A(優)の基準 | 到達レベル B(良)の基準 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 授業態度の評価コメントの内容が、しっかりとクリアされていること。 指定した基本機能すべての練習問題が提出された上で、出題した練習問題にも自主的に取り組み、それぞれが一定のクオリティを保って制作できていること。 | <ul style="list-style-type: none"> 指定した基本機能すべての練習問題が提出されそれぞれが一定のクオリティを保って制作できていること。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベル C(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|------|--|----------|---|---|-------|------------|
| 1週 / | はじめに 授業の進め方、Access の概要説明/データベースの設計と作成について | 講義 演習 | 授業の進め方、データベースの設計と作成について理解できる。 | (予習)PC の基本操作方法について確認。 (復習)日常におけるデータベースがどんなものがあるか調べる。 | 90 | 課題 発見力 |
| 2週 / | テーブルの作成(1) フィールドの設定、主キーの設定、データの入力・データの格納・Access の基本的な構造を学ぶ。 | 演習 | フィールドの設定、主キーの設定、データ入力・格納について理解できる。 | (復習)Access の基本的な構造について復習する。 | 90 | 主体性 |
| 3週 / | テーブルの作成(2) 演習問題の実施(前回の内容を踏まえ、テーブルの作成を練習問題に取り組むことで理解する) | 演習 | 演習問題をこなし、内容について理解できる。 | 授業内で演習問題ができなかった場合、各自で進める。 | 90 | 主体性 実行力 |
| 4週 / | リレーションシップの設定 リレーションシップの設定の構造を理解する。リレーションシップに関する演習問題に取り組む。 | 演習 | リレーションシップの設定について理解できる。 | (復習)テーブル、リレーションシップについて復習する。 | 90 | 主体性 |
| 5週 / | クエリの作成(1) クエリの概要、共通フィールドの結合、塩酸フィールドの作成、データの加工、特にクエリについて学ぶ。 | 演習 | クエリ、共通フィールドの結合、演算フィールドの作成、データ加工について理解できる。 | (復習)クエリについて復習し、次回の演習問題に備える。 | 90 | 主体性 |
| 6週 / | クエリの作成(2) 演習問題(前回の内容を踏まえ、クエリの作成の練習問題に取り組むとことで理解する) | 演習 | 演習問題をこなし、内容について理解できる。 | 授業内で演習問題が出来なかった場合、各自で進めておく。 | 90 | 主体性 実行力 |
| 7週 / | フォームの作成(1) フォームの概要を理解し、データの効率的入力を学ぶ。 | 演習 | フォームの概要を理解できる。 データを正確に作るができる。 | (復習)フォームについて復習し、次回の演習問題に備える。 | 90 | 主体性 |
| 8週 / | フォームの作成(2) 演習問題(前回の内容を踏まえ、フォームの作成を練習問題に取り組むことで理解する) | 演習 | 演習問題をこなし、内容について理解できる。 | 授業内で演習問題ができなかった場合、各自で進めておく。 | 90 | 主体性 実行力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベル C(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|-------|---|------------|--|----------------------------------|-------|-------------------------|
| 9週 / | クエリの作成(3) 条件の合致刷るデータの抽出、データ集計など複雑なクエリを理解する。 | 演習 | データの抽出、データ集計など、複雑なクエリを理解できる。 | (復習)複雑なクエリについて復習し、次回の演習問題に備える。 | 90 | 主体性 |
| 10週 / | クエリの作成(4) 演習問題(前回の内容を踏まえ、複雑なクエリの作成、データの抽出・修正を練習問題に取り組むことで理解する) | 演習 | 演習問題をこなし、内容について理解できる。 | 授業内で演習問題ができなかった場合、各自で進めておく。 | 90 | 主体性 実行力 |
| 11週 / | レポートの作成(1) レポートの概要、印刷形式について、紙媒体へ印刷することを前提としたフォーマットの作成をする。 | 演習 | レポートの概要、印刷形式について理解し、紙媒体へ印刷することを前提としたフォーマットの作成を理解できる。 | (復習)レポートや印刷について復習し、次回の演習問題に備える。 | 90 | 主体性 |
| 12週 / | レポートの作成(2) 演習問題(前回の内容を踏まえ、レポートの作成を練習問題に取り組むことで理解する) | 演習 | 演習問題をこなし、内容について理解できる。 | 授業内で演習問題ができなかった場合、各自で進める。 | 90 | 主体性 実行力 |
| 13週 / | 総合問題(1) ここまで取り組んできた Access のテーブル作成、クエリの作成などの総合演習問題に取り組む。 | 演習 | ここまでと組んできた Access 基礎の問題をこなし、内容について理解できる。 | 授業内で総合演習問題ができなかった場合、各自で進めておく。 | 90 | 主体性 実行力 |
| 14週 / | 総合問題(2) ここまで取り組んできた Access のテーブル作成、クエリの作成などの総合演習問題に取り組む。 | 演習 | ここまでと組んできた Access 基礎の問題をこなし、内容について理解できる。 | 授業内で総合演習問題ができなかった場合、各自で進めておく。 | 90 | 主体性 実行力 |
| 15週 / | 総合問題(3) 総合演習問題のつづき、小テストを行なう。 | 演習 小テスト | 小テストにおいて、データがしっかり作れる。 | (予習)小テストのために授業で学んだこれまでの内容を総復習する。 | 90 | 主体性 実行力 課題 発見力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力